

公園施設を計画的に維持管理すれば…!

屋外で何十年と風雨にさらされ傷みが早い公園施設は、日常点検や公園リニューアルとともに、計画的な維持管理を行うことで、公園利用者の皆さんが安心して利用できる状態を、ながく保つことができます。



つまり、「公園施設の計画的な維持管理」を行うことによって、以下を実現します。

施設の破損等に伴う事故や怪我を未然に防ぐ。

施設の小補修や部分的改修で安全性を確保しつつ、なるべく長く公園施設を使う。

長期的にみた公園施設の維持管理にかかるトータルコストを少なくする。

もっと詳しく知りたいときは…

北九州市の公園施設長寿命化計画の詳細をホームページに掲載しています。

北九州市のホームページ (<http://www.city.kitakyushu.lg.jp>) のページ上にある検索ツールで

「公園緑地部」を検索し、検索結果の「公園緑地部ページ一覧・北九州市」のリンク先から

「公園施設長寿命化計画策定(アセットマネジメント)」を閲覧して下さい。



計画策定担当

北九州市建設局 公園緑地部 みどり・公園整備課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
電話：093-582-2460 FAX：093-582-0166



北九州市の公園施設の 計画的な維持管理プラン

北九州市公園施設長寿命化計画



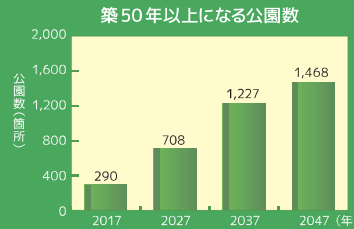
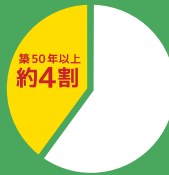
北九州市
City of Kitakyushu

北九州市の公園にも高齢化の波がやってくる!

北九州市には1,706の公園があり

10年後には約4割が
築50年以上になります。

- 市内にある公園数は1,706箇所
- そのうち17%は開設から50年以上が経過
- 小規模な開発公園が毎年5~10箇所増えている



公園施設の材質は多様で老朽化の早さがそれぞれ違う。

公園施設の材質は多種多様で、木、レンガ、コンクリート、FRP、鉄、アルミなど、老朽化の進み方が材質や施設ごとに異なります。



木
耐用年数7年



鉄
耐用年数15年



コンクリート
耐用年数50年

公園施設を取り巻く環境は厳しい!

公園施設は屋外に設置されるため、日照、風雨、雪、凍害の影響に加え、破壊行為やいたずらを受けるなど、劣化を食い止めるのは簡単ではありません。



もしも、日常点検・維持保全が不十分になると...



公園は私たちの大切な財産、しっかり維持管理を!

これまでの北九州市の取り組み

- 1 日常点検**
 - 職員による「巡視点検」(概ね40日に1回)
 - 可動部のある遊具などは「専門家点検」(年に1回程度)

不具合
発見

- 維持補修**
 - 劣化部材取り換えなどの修繕

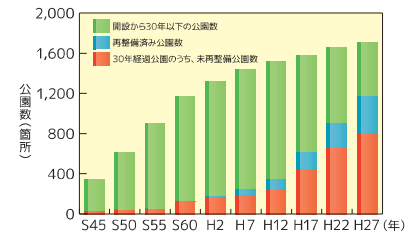
- 2 公園リニューアル(再整備)**
 - おおむね築30年以上経過した公園をリニューアル(全面・部分再整備)



けれど、リニューアルできる公園数には限界が...

特に近年は「地域に役立つ公園づくり事業」などで、地域の皆さんの意見を積極的に取り入れながら、年間20公園以上を再整備。

公園全体に占める、再整備済み公園の割合



公園の老朽化には
全く追いつかない!

そこで

公園施設の計画的な維持管理が必要

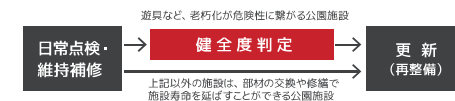


約半数の公園が、
開設後30年を経過しても
再整備できていない。

新たな取り組みの公園施設長寿命化計画って何?

~ 計画的な維持管理のために ~ 公園施設長寿命化計画

- 遊具など、老朽化が危険性に繋がる公園施設については健全度判定を実施します。
- 上記以外の施設は、部材の交換や修繕で施設寿命を延ばすことができる公園施設は修繕を行い、なるべく長く施設を使用します。
- 健全度判定や設置からの年数等に基づき、公園施設ごとに更新の計画をたて、順次、更新を行っていきます。



公園施設長寿命化計画では、計画的な維持管理を行うことで、維持管理のトータルコスト削減や維持管理予算の平準化を図っています。

これまでの取り組みに、新しい取り組みを加えて
私たちの大切な財産をしっかり維持管理していきます。

